

平成28年度教育課程研究集会

中学校保健体育

於：県立教育研究所 7/29

奈良県教育委員会事務局

保健体育課 村井篤史

これまでの中教審の議論の経過と今後のスケジュール

平成26年11月	中央教育審議会総会 「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」諮問
平成26年12月	教育課程部会 ・教育課程企画特別部会を設置
平成27年1月	教育課程企画特別部会（第1回） ↓ 新しい時代にふさわしい学習指導要領の基本的な考え方や、 教科・科目等の在り方、学習・指導方法及び評価方法の在り 方等に関する基本的な方向性について、計14回審議
平成27年8月	教育課程企画特別部会（第14回） 教育課程部会 ・「論点整理」をとりまとめ
平成27年 秋以降	論点整理の方向に沿って教科等別・学校種別に専門的に検討
平成28年	教育課程部会又は教育課程企画特別部会における議論を踏まえて、審議のまとめ
平成28年度内	中央教育審議会として答申

（小学校は32年度から、中学は33年度から全面実施予定。高校は34年度から年次進行により実施予定。）

21世紀が知的基盤社会であるという認識は、前回改訂と共通。
グローバル化や情報化等の変化が加速度的となる中で、
将来の予測がますます難しい時代に。

(現代的な課題)

- 社会的・職業的に自立した人間として、郷土や我が国が育んできた伝統や文化に立脚した広い視野と深い知識を持ち、理想を実現しようとする高い志や意欲を持って、個性や能力を生かしながら、社会の激しい変化の中でも何が重要かを主体的に判断できること。
「主体的学び」
- 他者に対して自分の考え等を根拠とともに明確に説明しながら、対話や議論を通じて多様な相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりし、多様な人々と協働していくことができること。
「対話的学び」
- 社会の中で自ら問いを立て、解決方法を探索して計画を実行し、問題を解決に導き新たな価値を創造していくとともに新たな問題の発見・解決につなげていくことができること。
「深い学び」

学習指導要領改訂の方向性（案）

平成28年5月23日
教 育 課 長 官
総則・評価特別部会
資料3-1

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な知識や力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない

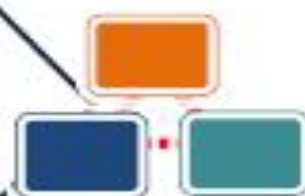
どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の力を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善

深い学び
対話的な学び
主体的な学び



育成すべき資質・能力の三つの柱（案）

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

各教科等の学校段階別の教育のイメージ(案) (中学校段階)

※平成28年6月15日現在、各教科等WGで検討中の案を抜粋したものの

教科等	柱	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性
国語科	◎国語で理解し表現することを通じて、創造的・論理的思考の側面や感性・情緒の側面、社会生活における人との関わりの側面から言葉の働きを捉える言葉に対する見方・考え方を働かせ、言語感覚を豊かにし、自分の思いや考えを形成し深める資質・能力を育成する。	①社会生活に必要な国語の特質について理解し適切に使うことができるようにする。	②創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を養い、社会生活における人との関わりの中で、国語で正確に理解したり適切に表現したりするとともに、新たな考えを創造する力を高めるようにする。	③言葉を通じて伝え合う価値を認識するとともに、言語文化に関わり、国語を尊重するようにする。
社会科	◎社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり、解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり養う。	①我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	②社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うようにする。	③社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を意欲的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めるようにする。
数学科	◎数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。	①数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする技能を身に付ける。	②事象を数学を活用して論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力や、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	③数学のよさを実感し、数学を活用して粘り強く考え、生活や学習に生かしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりする態度を養う。
理科	◎自然の事物・現象について、理科における見方・考え方を働かせて問題を明確にして、見通しをもって課題を設定し、観察・実験などを行い、根拠に基づき結論を導き出す過程を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。	①自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の基本的な理解と科学的探究についての基本的な理解や観察・実験等の基本的な技能を養う。	②見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析・解釈する力を養う。	③自然を敬い、自然の事物・事象にすすんでかかわり、科学的に探究する態度と根拠に基づき判断し表現する態度を養う。

音楽科	◎表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせて、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすとともに、生活や社会の中の音や音楽の働きや音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う資質・能力を育成する。	①音楽の背景や構造と、曲想との関わり及び音楽の多様性について理解することや、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができるようにする。	②多様な音楽の特徴を捉え、音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさなどを味わって聴くことができるようにする。	③音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽と人々の暮らしなどとの関わりから、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに諸外国の音楽文化の多様性に気付き、音楽を愛好する心情をもてるようにする。
美術科	◎表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせて、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばすとともに、生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う資質・能力を育成する。	①形や色彩などの特徴について、創造活動を通じた造形的な視点として理解したり、美術作品や文化遺産などについて造形的な特徴などから理解を深めたりすることや、発想や構想したことを基に、意図に応じて創意工夫して表す創造的な技能を身に付けることができるようにする。	②豊かに発想や構想することや、造形的なよさや美しさを感じ取り味わったり、美術文化を伝統的かつ創造的な側面から捉えたりして、創造的に思考・判断できるようにする。	③主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組み、美術の創造活動の喜びを味わい、生活や社会の中の美術の働きや美術文化と豊かに関わり、美術を愛好する心情をもてるようにする。
技術家庭科 (家庭分野)	◎家庭分野の見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、これからの生活を展望し、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成する。	①家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解と技能を養う。	②家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	③自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
技術家庭科 (技術分野)	◎技術分野の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な学習活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成する。	①生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解と技能を養い、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	②生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し解決策を構想し製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	③よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
保健体育科	◎課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習活動を通して、体育や保健の見方・考え方を働かせ、心と体を一体として捉え、心身の健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現を目指すための資質・能力を育成する。	①各種の運動の特性・魅力に応じた運動についての理解や自他の健康についての理解を図るとともに、基本的な技能を育成する。	②運動や健康についての自他の課題に気付き、よりよい解決に向けて思考・判断し、目的に応じて他者に伝える能力を育成する。	③生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を育成する。

深い学びと学力の関係

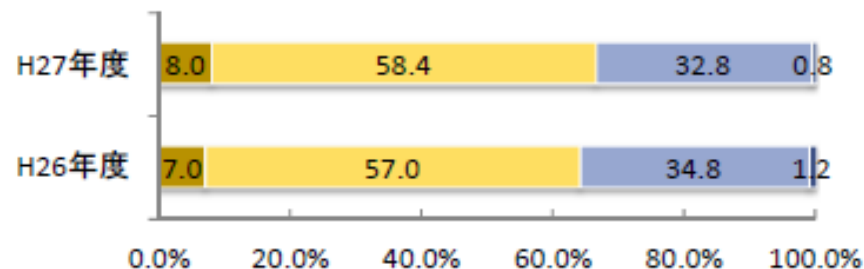
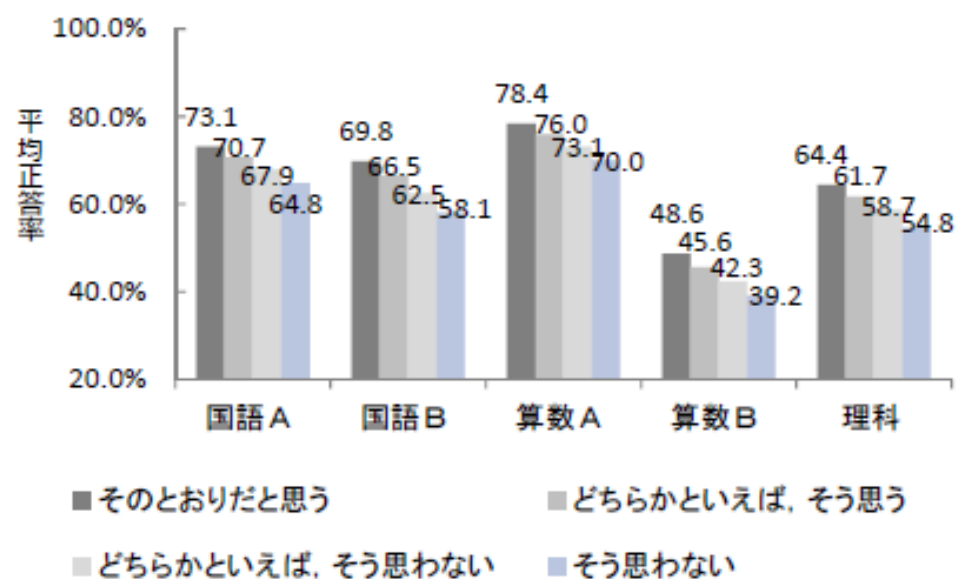
—平成27年度全国学力・学習状況調査の結果から—

◆「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるか」について、肯定的回答の方が平均正答率が高い状況であった。

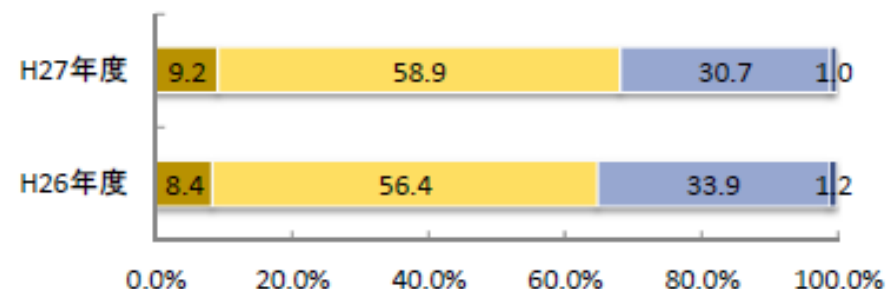
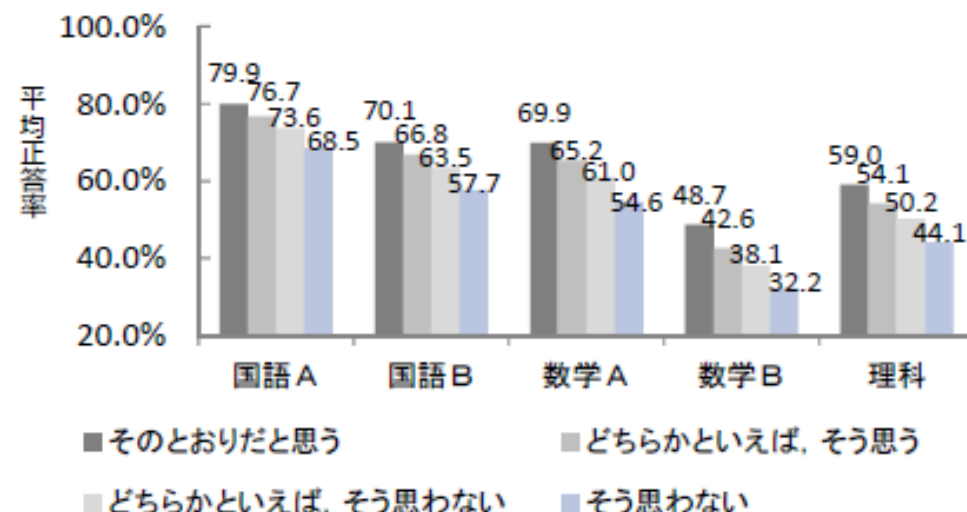
【質問項目】

調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか。

【小学校】



【中学校】



主体的・対話的で深い学びの実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）（案）

平成28年5月9日
教育課程部会
高等学校部会
資料8（会議後修正）

○「論点整理」におけるアクティブ・ラーニングの視点

【深い学び】

習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。

【対話的な学び】 「協働的な学び」

他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。

【主体的な学び】

子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

総則・評価特別部会及び各教科等WGの議論を踏まえ、以下のように整理できるのではないか

【深い学び】

習得・活用・探究の見通しの中で、教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容の深い理解や資質・能力の育成、学習への動機付け等につなげる「**深い学び**」が実現できているか。

【対話的な学び】

子供同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

各教科等の見方・考え方(案)

※平成28年6月15日現在、各教科等WGで検討中の案を抜粋したもの

教科等	小学校	中学校	高等学校
国語科	①創造的思考とそれを支える論理的思考の側面、②感性・情緒の側面、③他者とのコミュニケーションの側面から言葉の働きを捉え、理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを深めること。	同左	同左
社会科 地理歴史科 公民科	(社会的事象の見方・考え方) 位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して社会的事象を見出し、比較・分類したり総合したり、国民(人々)の生活と関連付けること。	(社会的事象の地理的な見方・考え方) 絶対的、相対的など位置や空間的な広がりに関わる視点に着目して社会的事象を見出し、環境条件や他地域との結び付きなどを地域等の枠組みの中で人間の営みと関連付けること。 (社会的事象の歴史的な見方・考え方) 時代の転換など、時期、推移や変化などに着目して社会的事象を見出し、比較して相違や共通性などを明確にして、諸事象とその背景などの関連性に留意すること。 (現代社会の見方・考え方) 対立と合意、効率と公正などの現代社会を捉える概念的枠組みに着目して課題を見出し、それらの解決に向けて多様な概念と関連付けること。	(社会的事象の地理的な見方・考え方) 時間距離や等質性など位置や空間的な広がりとの関わりに着目して社会的事象を見出し、環境条件や他地域との結び付きなどを地域等の枠組みの中で人間の営みと関連付けること。 (社会的事象の歴史的な見方・考え方) 時期、推移や変化などに着目して社会的事象を見出したり、比較して共通性や相違点などを明確にしたりして、因果など事象相互の関連性に留意すること。 (人間と社会の在り方についての見方・考え方) 人間と社会の在り方を捉える概念的枠組みに着目して課題を見出し、それらの解決に向けて民主主義、自由・権利と責任・義務など選択・判断するための手掛かりとなる考え方と関連付けること。
算数科 数学科	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること。	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること。	事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的、体系的に考えること。
理科	身近な自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなど、問題解決の方法を用いて考えること。	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなど、科学的に探究する方法を用いて、多面的に考えること。	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなど、科学的に探究する方法を用いて、多面的・総合的に考えること。
生活科	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、比較、分類、関連づけ、工夫、試行、予測することなどを通して自分自身や自分の生活について考えること。	—	—

<p>体育科・保健体育科</p>	<p>(体育科) 運動やスポーツについて、その意義や特性に着目して、楽しさや喜びを見出すとともに体力の向上に果たす役割を捉え、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった視点を踏まえながら、自己の適性等に応じて「する・みる・支える・知る」等の多様な関わり方について考えること。</p>	<p>(体育分野) 運動やスポーツについて、その意義や特性に着目して、楽しさや喜びを見出すとともに体力の向上に果たす役割を捉え、公正、協力、責任、参画、<u>共生</u>、健康・安全といった視点を踏まえながら、自己の適性等に応じて「<u>する・みる・支える・知る</u>」等の多様な関わり方について考えること。</p> <p>(保健分野) 健康や安全の視点から情報を捉え、心身の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりを目指して、疾病等のリスクを減らしたり、生活の質を高めたりすることについて考えること。</p>	<p>同左</p>
<p>道徳科</p>	<p>検討中</p>	<p>検討中</p>	<p>検討中</p>
<p>外国語活動</p>	<p>外国語やその背景にある文化を尊重し、他者との関わりの側面から言語を捉え、目的・場面・状況等に応じて、外国語で情報や考えなどを形成・整理・再構築し、それらを活用して、外国語を話したり書いたりして適切に表現し伝え合うために考えること。</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>外国語科</p>	<p>外国語やその背景にある文化を尊重し、他者との関わりの側面から言語を捉え、目的・場面・状況等に応じて、外国語で情報や考えなどを形成・整理・再構築し、それらを活用して、外国語を話したり書いたりして適切に表現し伝え合うために考えること。</p>	<p>外国語やその背景にある文化を尊重し、他者との関わりの側面から言語を捉え、目的・場面・状況等に応じて、外国語で情報や考えなどを形成・整理・再構築し、それらを活用して、外国語を話したり書いたりして適切に表現し伝え合うために考えること。</p>	<p>外国語やその背景にある文化を尊重し、他者との関わりの側面から言語を捉え、目的・場面・状況等に応じて、外国語で情報や考えなどを形成・整理・再構築し、それらを活用して、外国語を話したり書いたりして適切に表現し伝え合うために考えること。</p>
<p>総合的な学習の時間・総合的な探究の時間(仮称)</p>	<p>各教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈の中で物事を考えたり、自分自身の生き方と関連付けて内省的に考えたりすること。</p>	<p>各教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈の中で物事を考えたり、自分自身の生き方と関連付けて内省的に考えたりすること。</p>	<p>各教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を総合的・統一的に活用して、広範かつ複雑な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の複雑な文脈の中で物事を考えたり、自分自身の在り方生き方と関連付けて内省的に考えたりすること。</p>

観点別学習状況の評価について

- 学習評価には、児童生徒の学習状況を検証し、結果の面から教育水準の維持向上を保障する機能。
- 各教科においては、学習指導要領等の目標に照らして設定した観点ごとに学習状況の評価と評定を行う「目標に準拠した評価」として実施。
⇒きめの細かい学習指導の充実と児童生徒一人一人の学習内容の確実な定着を目指す。

学力の3つの要素と評価の観点との整理

【現行】

学習評価の 4 観点

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解

【以下の3観点に沿った整理を検討】

学力の3要素 (学校教育法) (学習指導要領)

知識及び技能

思考力・判断力
・表現力等

主体的に学習に
取り組む態度

学習指導と学習評価のPDCAサイクル

- 学習評価を通じて、学習指導の在り方を見直すことや個に応じた指導の充実を図ること、学校における教育活動を組織として改善することが重要。

指導と評価の一体化



学習評価の改善に関する今後の検討の方向性

各教科等の評価の観点のイメージ（案）

観点（例） ※具体的な観点の書きぶりは、 各教科等の特質を踏まえて検討	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各観点の趣旨の イメージ（例） ※具体的な記述については、 各教科等の特質を踏まえて検討	（例） 〇〇を理解している／〇〇の知識を身に付けている 〇〇することができる／〇〇の技能を身に付けている	（例） 各教科等の特質に応じ育まれる見方や考え方をを用いて探究することを通じて、考えたり判断したり表現したりしている	（例） 主体的に知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとしていたりしている

- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していく。
- ② 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立する。
- ③ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせる。

次期学習指導要領改訂に向けて



最近よく「アクティブ・ラーニング」という言葉が出てるけど…。グループでの話し合いはいつもやっています！何か新しい手法なの？

「カリキュラム・マネジメント」…。マネジメントするのは管理職でしょ。



その疑問に お答えします！

- 教育課程特別部会における論点整理について(報告)

論点整理

検索

- 次期学習指導要領改訂へ向けた解説動画
【文部科学省動画チャンネル】

学習指導要領改訂 解説動画

検索

社会に開かれた
教育課程

育成すべき
資質・能力の
明確化

アクティブ・
ラーニング
の視点から
の学習・指
導方法の
改善

カリキュラム・
マネジメント
の充実

「論点整理」
～新しい学習指導要領
が目指すべき姿～



私たちが社会で活躍する2030年頃の 社会ってどうなっているんだろう？

- 人工知能の進化やグローバル化など、社会の変化が加速度的となり、未来を予測することが困難な時代です。
- 社会がどのように変化しても、多様な人々とのつながりを保ちながら自らの人生を切り拓き、新たな価値を生み出しながら持続可能な社会を創造していくことが重要になります。

学校教育の役割
とは？

「論点整理」では、新しい学習指導要領が目指すべき姿を示しています。「社会に開かれた教育課程」の理念の実現へ向けて、「カリキュラム・マネジメント」の充実など、今からでも実施できることについてはぜひ取り組んでいきましょう。

保健授業 10年行わず

東京の市立中

東京都東村山市の市立東村山第三中学校が「保健」の授業を実施していなかった問題で、市教育委員会は8日、その期間が約10年になることを明らかにした。平成18年4月に着任した男性体育教諭(61)が「体育実技の方が生活指導に効果的」と判断

以降、他の体育教諭計6人も、保健の授業を規定の半分程度の年10コマしか行わなかったり、全くなかったりした。同市の森純教育長は「監督不行き届きだった。生徒、卒業生には申し訳ない」と謝罪した。在校生を受けさせ、希望する卒業生にも夜間や休日に授業をすることを検討しているという。

していた。市教委の調べに、男性教諭は「着任時は教室内で授業をしても生徒が落ち着かず、問題行動に苦慮した。体育の授業をして保健の指導もすれば、保健の代わりになると思った」と釈明したという。

市教委によると、同校では18年度

平成28年6月9日(木)
産経新聞

現行学習指導要領の基本的な考え

- 教育基本法改正等で明確となった教育理念を踏まえ「生きる力」を育成

確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を重視

- 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視

言語能力の育成

- 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成

体力向上、安全教育や食育などを充実

【体育科・保健体育科に課された課題】

体育の課題とは

- 運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向
- 子どもの体力低下傾向が依然深刻
- 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成が十分に図られていない例も見られる。
- 学習体験のないまま領域を選択しているのではないか

中学校保健体育科の主な改善事項

○授業時間数

- ・年間標準授業時数 90単位時間 → 単位時間
- ・3年間で 単位時間
- ・35週×3単位時間＝ 単位時間×3年間＝ 単位時間

○体育分野

- ・3年間で 単位時間程度
- ・「体づくり運動」 各学年ごと 単位時間以上
- ・「体育理論」 各学年 単位時間以上

○保健分野

- ・3年間で 単位時間程度

○体育分野

- ・第1学年及び第2学年において、「器械運動」「陸上競」「水泳」「球技」「武道」「ダンス」のすべての領域が選択されている。
- ・「器械運動」について、第1学年及び第2学年において、
を含む2種目選択されている。
- ・「球技」について、第1学年及び第2学年において、
3つの型が配当されている。

(型、 型、 型)

- ・第3学年では、「 」「 」「 」「 」の領域
のまとまりと「 」「 」の領域のまとまりから1領域以上選択
されている。

現行学習指導要領の成果と課題

- 「技能」「態度」「知識、思考・判断」のバランスのとれた指導に留意するとともに、学習したことを実生活、実社会において生かすことを重視する等、知識や技能の習得や向上のみに偏らない指導に留意してきた。
- 小・中・高等学校の12年間の系統性を4年ごとに整理
 - 小1から4年生までを「各種の運動の基礎を培う時期」
生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる
 - 小5から中2年生までを「多くの領域の学習を経験する時期」
生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる
 - 中3から高等学校までを「卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようにする時期」
生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる

現行学習指導要領の成果と課題

- 体づくり運動の指導時間の目安を示すとともに、自らのねらいに応じて運動の計画を立てて取り組む能力の育成を重視してきたため、運動やスポーツが好きな生徒の割合が高い等、一定の成果が見られる。

一方で、依然として運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向が見られることや、低下傾向には歯止めがかかっているものの、昭和60年頃と比較すると、依然として低い状況が見られる。

現行学習指導要領の成果と課題

- 知識に関する領域として、「する、みる、支える」等のスポーツとの多様な関わりの必要性の理解や、公正、責任、健康・安全等、態度の指導内容の理解に一定の成果が見られる。

一方で、習得した知識を活用して課題解決する学習の充実を図ることや、学習したことを相手に分かりやすく伝えること等に課題があるのではないかという指摘がある。

現行学習指導要領の成果と課題

- 保健については、健康に関する基礎的な知識の習得を目指した学習が定着しており、健康の大切さへの認識や健康・安全に関する基礎的な理解に一定の成果が見られる。

一方で、健康課題を発見し、習得した知識を活用して課題解決する学習は不十分で、論理的な思考力の育成に課題があるのではないかという指摘がある。また、社会の変化に伴う新たな健康課題に対応した教育が必要ではないかという指摘がある。

現行学習指導要領の成果と課題

- 特別な配慮を要する生徒について、保健体育科においては、これまで、安全上の配慮から、当該生徒の能力等に応じた適切な学習機会を十分に提供できていない状況や、他の生徒との円滑な関係を構築するための指導が十分にされていない状況及び指導場面において、安易な学習内容の変更や学習活動の代替になっているのではないかという指摘がある。

研修会、研究大会等

- 中・高等学校体育実技指導者講習会
8月10日(水)・・・柔道(天理中学校武道場)
8月26日(金)・・・午前 体づくり運動
午後 ダンス (天理市立総合体育館)

【予定】

剣道(県立添上高等学校)

バスケットボール(ゴール型)

- 中学校保健体育研究大会
10月25日(火) 高取町立高取中学校
- 学校体育研究大会
1月12日(木) 教育研究所

奈良県学力・学習状況調査

平成28年4月19日（火）

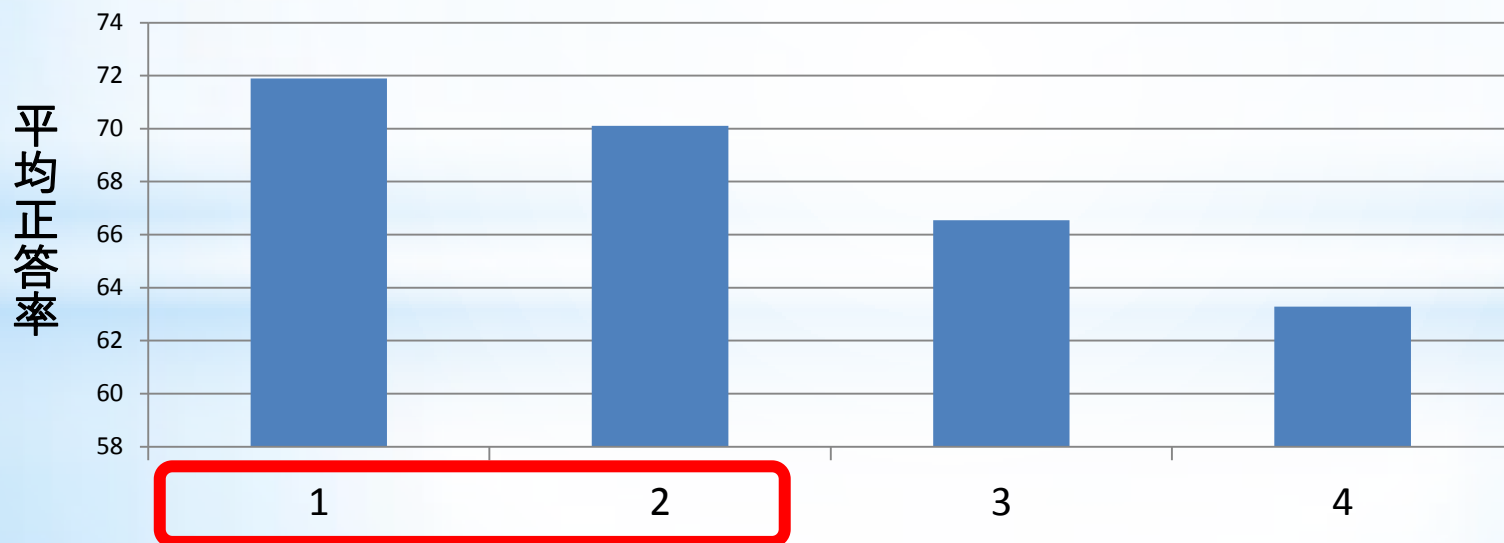
- 学力調査
- 生徒質問紙調査
- 教員質問紙調査

〈肯定的な回答ほど、平均正答率が高いもの〉

下のグラフにおいて、「家で復習をしている」と答えた生徒ほど平均正答率が高く、「復習をしていない」と答えた生徒ほど平均正答率が低い。

質問に対する回答結果と平均正答率との間に、このような関係が見られるものを紹介する。

家で、学校の授業の復習をしていますか



国語と数学の相加平均

- 1 している
- 2 どちらかといえばしている
- 3 どちらかといえばしていない
- 4 していない

〈肯定的な回答ほど、平均正答率が高いもの〉①

○家庭学習状況

- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- ・家で、学校の授業の復習をしている。
- ・疑問に思ったことは自分で調べてみようと思う。

○自尊感情

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・自分は、先生から認められていると思う。
- ・自分には、よいところがあると思う。

〈肯定的な回答ほど、平均正答率が高いもの〉②

○規範意識

- ・学校の規則を守っている。
- ・友達との約束を守っていますか。
- ・学校では、先生に挨拶をしている。

○社会に対する興味・関心

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に
関心がある。
- ・テレビのニュース番組やインターネットの
ニュースを見ている。
- ・家庭で、地域や社会で起こっている問題や
出来事を話題にしている。

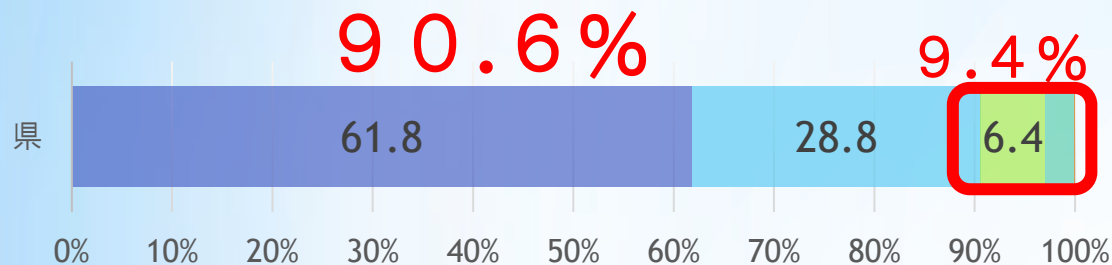
〈肯定的な回答ほど、平均正答率が高いもの〉③

○授業において

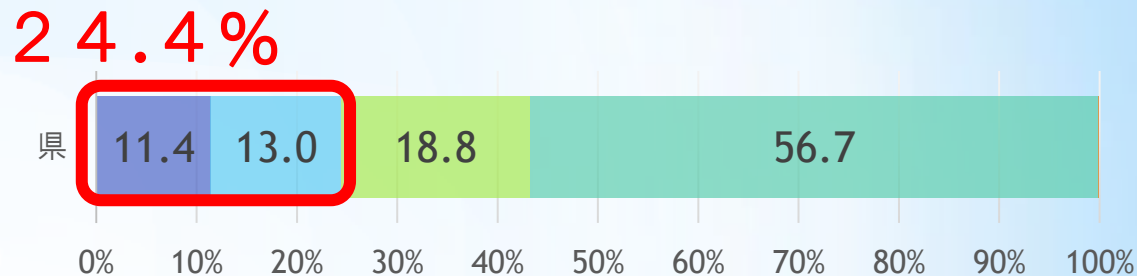
- ・ 小学校では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。
- ・ 小学校では、授業のはじめに目標（めあて、ねらい）が示されていたと思う。
- ・ 小学校では、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。

奈良県学力・学習状況調査（生徒質問紙調査）

○ 学校に行くのは楽しいですか。

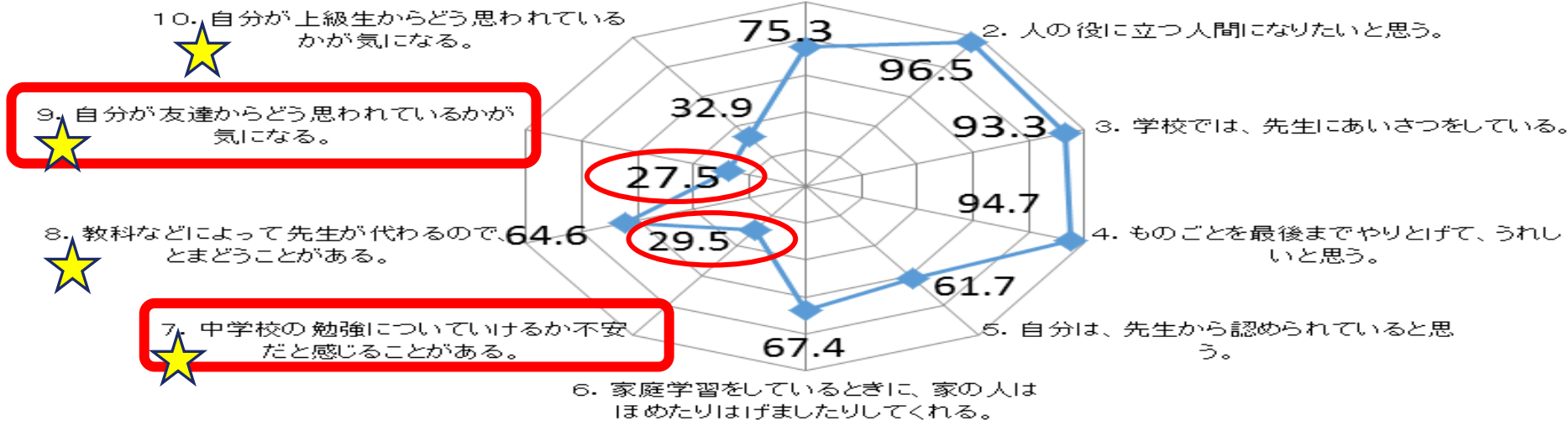


○ 学校に行けない、または、行きたくないと思うことがありますか。



生徒質問紙調査（県平均）

1. 自分には、よいところがあると思う。



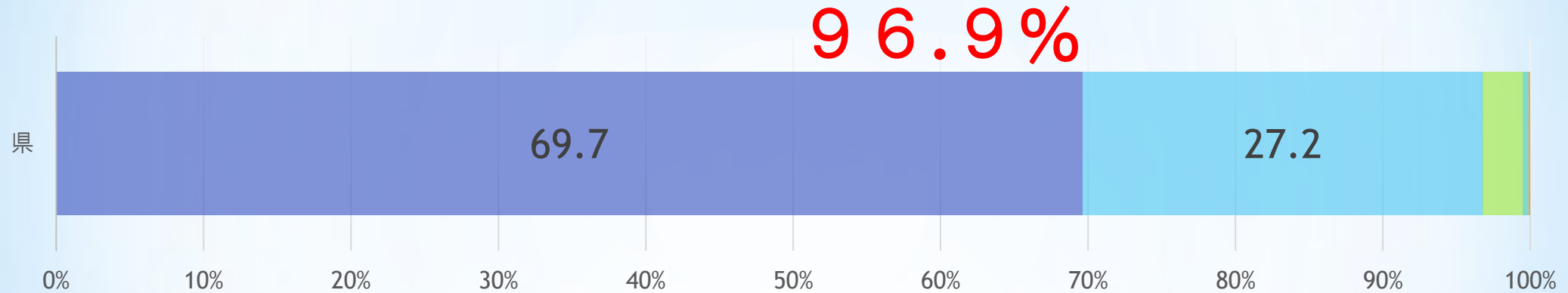
※設問1～10のうち、

1～6は、「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した生徒の割合の合計

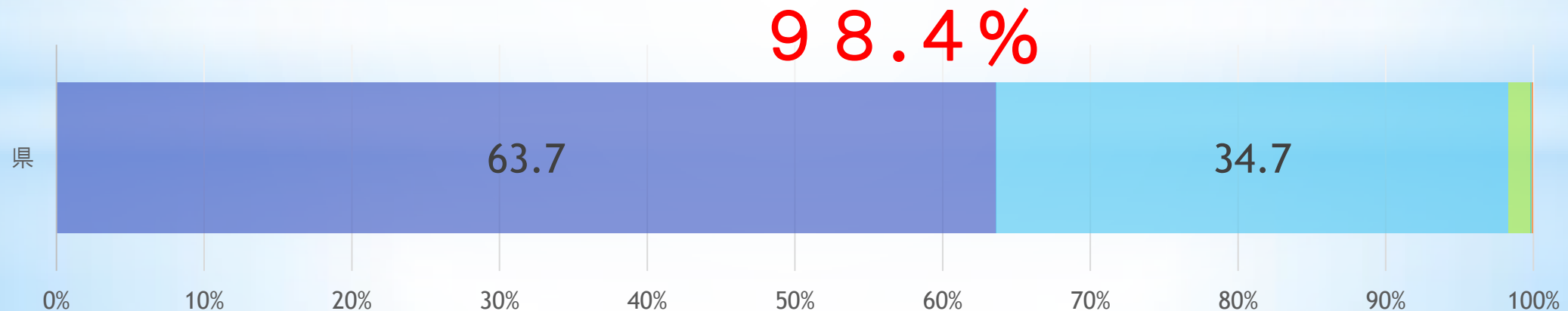
7～10は、「どちらかといえば思わない」、「思わない」と回答した生徒の割合の合計 を表す。

奈良県学力・学習状況調査（教員質問紙調査）

○ 生徒に学校や地域で挨拶をするよう指導していますか。

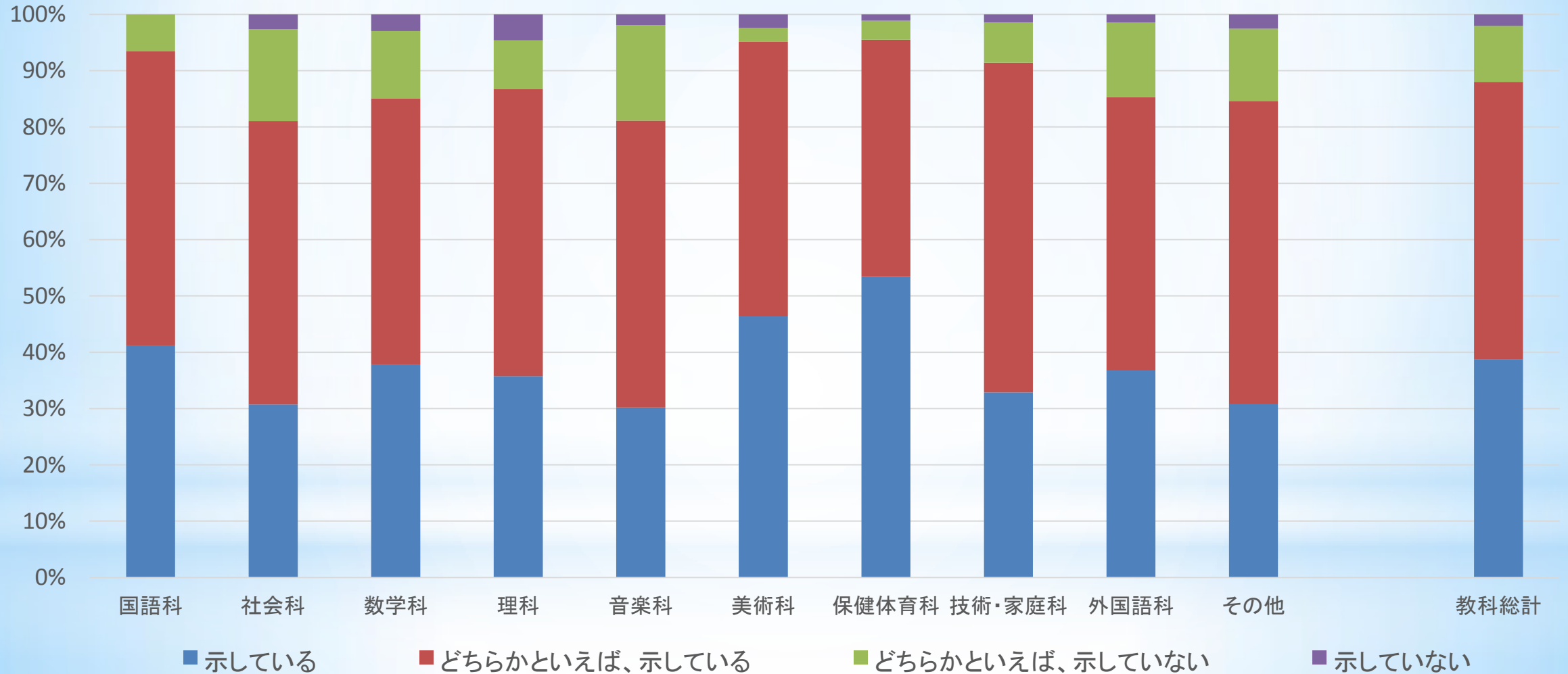


○ 学校では、生徒のよいところを見付け、褒めていますか。



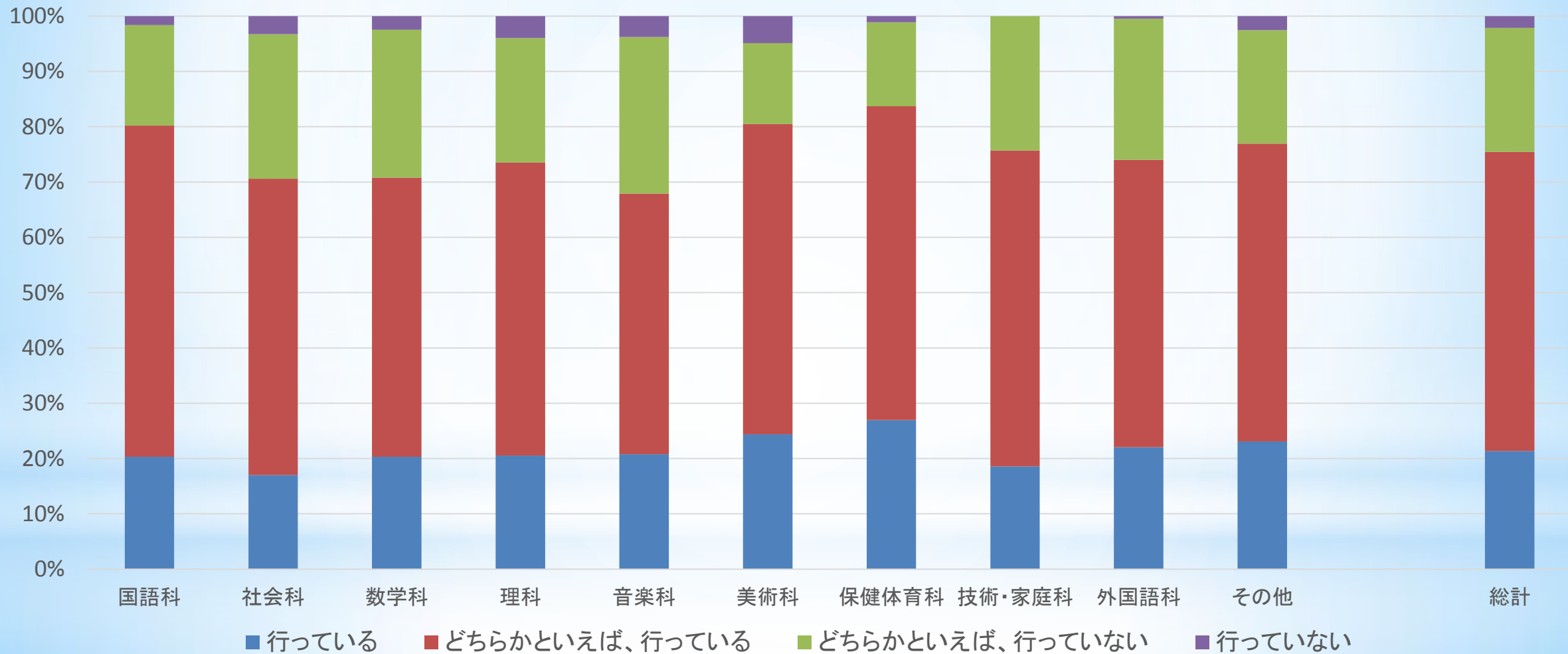
奈良県学力・学習状況調査（教員質問紙調査）

授業のはじめに目標を示していますか



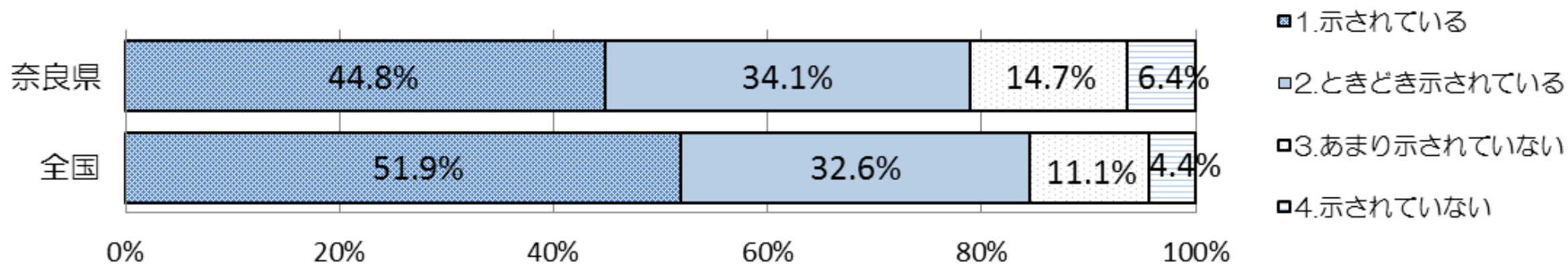
奈良県学力・学習状況調査（教員質問紙調査）

授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っていますか

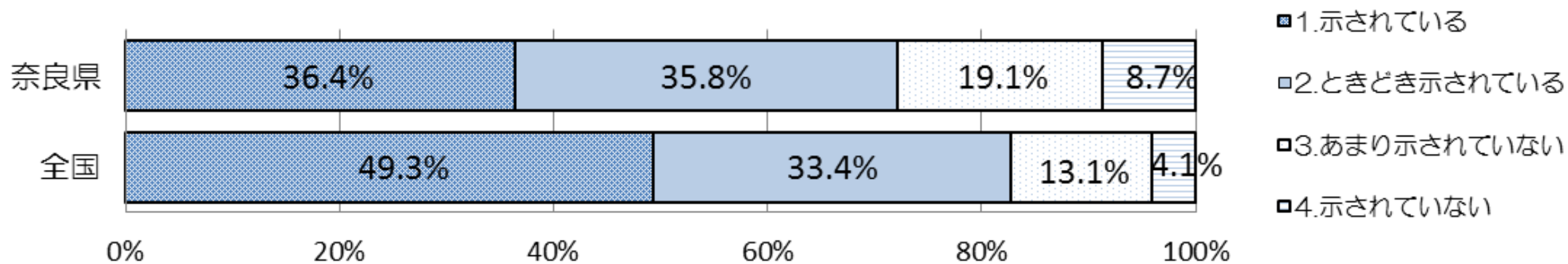


授業の目標は示されているか？

Q21 保健体育授業の目標が示されている（男子）

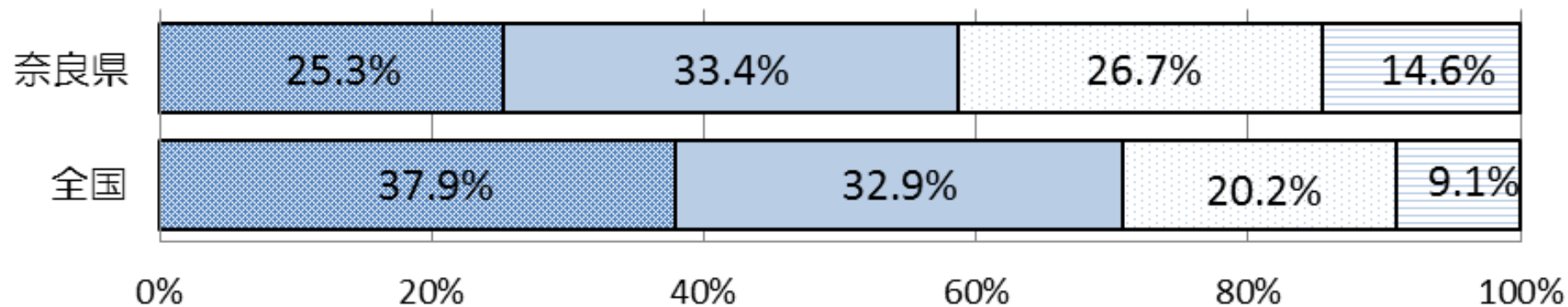


Q21 保健体育授業の目標が示されている（女子）



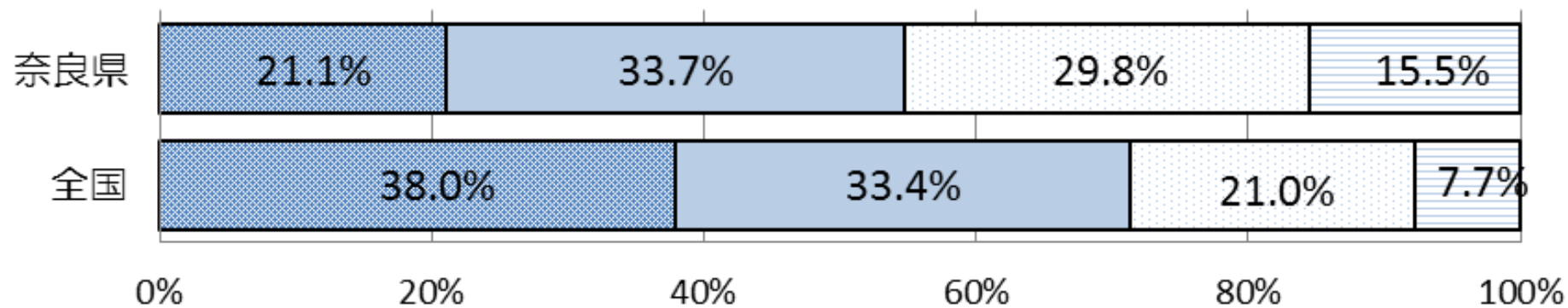
授業で振り返る活動は？

Q22 保健体育授業で振り返る活動を行っている（男子）



- 1. 行っている
- 2. ときどき行っている
- 3. あまり行っていない
- 4. 行っていない

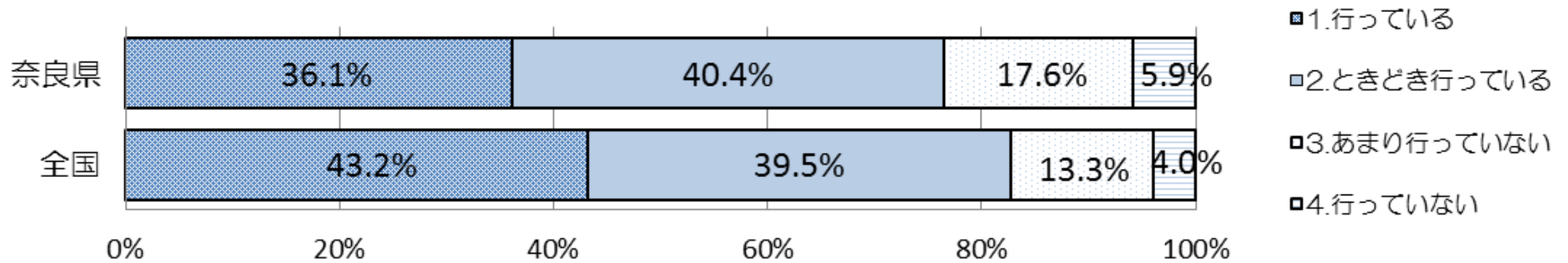
Q22 保健体育授業で振り返る活動を行っている（女子）



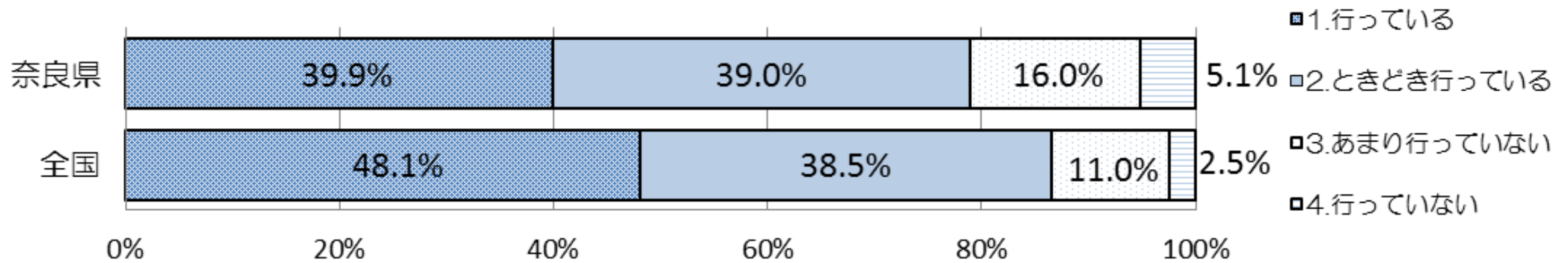
- 1. 行っている
- 2. ときどき行っている
- 3. あまり行っていない
- 4. 行っていない

助け合う活動を行っているか？

Q23 保健体育授業で助け合う活動を行っている（男子）

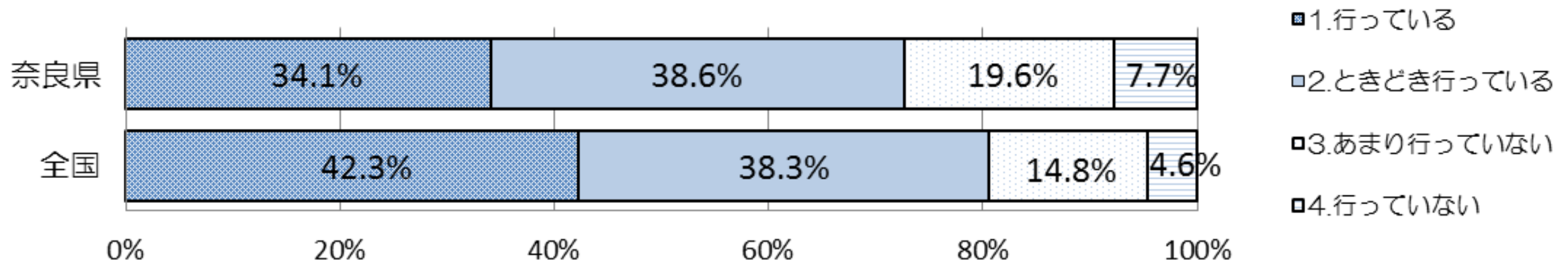


Q23 保健体育授業で助け合う活動を行っている（女子）

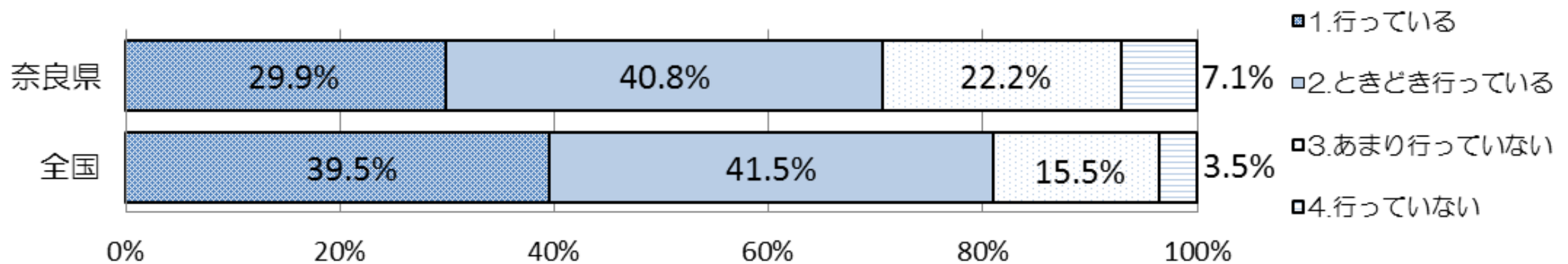


話し合う活動を行っているか？

Q24 保健体育授業で話し合う活動を行っている（男子）

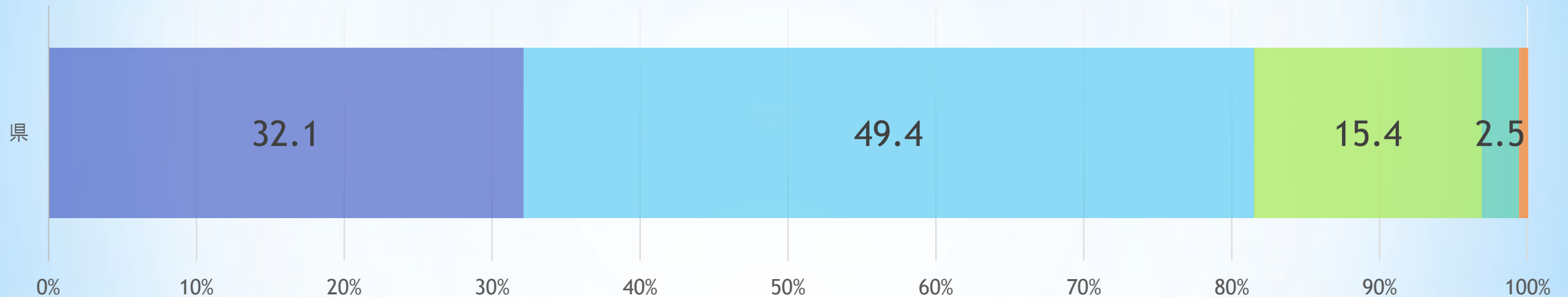


Q24 保健体育授業で話し合う活動を行っている（女子）



奈良県学力・学習状況調査（教員質問紙調査）

- 学校全体の学力傾向や課題について、他の職員と共有していますか。



奈良県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査



自校の生徒の実態を共有

教職員の一致した指導